

# 和歌山発の極早生・多収品種「紀の香」の育成

## 「まりひめ」に続く、第2の県オリジナル品種

### 研究開発の背景

- ◇県内主要品種「さちのか」は晩生で収量性が低い、「まりひめ」は炭疽病に弱く枯死リスクも高いため栽培をやめる農家もみられた。
- ◇産地では、炭疽病に強い優良品種の新たな育成が望まれていた。

### 研究成果の内容

#### 炭疽病に強く11月から収穫できる高糖度品種

- 育成経過**  
交配親 ♀「かおり野」×♂「こいのか」 平成28年3月に品種登録申請。
- 早晩性**  
花芽分化期：9月上旬 収穫始期：11月中旬
- 果実品質**  
糖度：「まりひめ」と同程度で高い。 酸含量：「さちのか」と同等かやや多い。  
果実形状：やや丸みを帯びた紡錘形、上物率82%で「さちのか」と同等。
- 収量性**  
収量：「さちのか」より多い。 平均一果重：19.0gで「さちのか」より大きい。
- 炭疽病耐性**  
罹病性であるが、「まりひめ」より強く、「さちのか」と同程度の強さ。



表1 品種と規格別収量、上物率および平均一果重

品種	規格別収量			合計 (g/株)	上物率 (%)	平均一果重 (g/個)
	上物 (g/株)	下物 (g/株)	外品 (g/株)			
紀の香	562	88	38	688	82	19.0
かおり野	491	167	105	763	64	16.7
こいのか	452	40	44	536	84	14.8
まりひめ	694	43	17	753	92	21.9
さちのか	396	39	32	467	85	17.7

注)外品には小果(8g以下)、変形果、奇形果を含む

### 産地の状況

- 現地試作と栽培マニュアル化を推進中**
  - ・県下各地域の早期収穫や炭疽病耐性を望む農家で、試験栽培、導入を検討。
  - ・品種特性の把握、栽培管理技術を開発中。
- 産地の声**
  - ・直売所、業務用(製菓関係)、市場でオリジナル品種としての新しい需要が見込まれている。
  - ・炭疽病に強く、安定生産に期待感。



注)121は「紀の香」開発時の系統番号

### 期待される効果

- ☆「まりひめ」に次ぐ、第2の県オリジナルブランド戦略の展開。
- ☆炭疽病リスクの軽減と、多様なマーケティングで農家経営の向上。